

令和8年度

「運営に関する計画」

やたなか小中一貫校
大阪市立矢田小学校
大阪市立矢田南中学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の大きな課題として、学力向上と不登校児童生徒への対策が挙げられる。

長年の課題であった学力向上については、令和7年度の小学校経年調査や中学校チャレンジテストの結果から一定の成果が見られた。経年調査では、ほぼすべての学年で国語や算数、英語で大阪市平均を上回る結果が出ている。チャレンジテストでは、どの学年や教科でも大阪市平均に近づいており、大阪市平均を超える教科も出てきている。学力の向上に向けて、少人数授業（習熟度別も含む）の拡充や小中連携による授業力の向上、漢字検定や英語検定の継続実施や自主学習の推進に取り組んできた成果が表れていると考える。今後も取組を継続・発展させ、基礎的・基本的な学習内容の定着、学習習慣の定着を大切にしながら、「主体的・対話的で深い学び」を推進していく。

不登校児童生徒については、年度初めに各クラスでなかま作りの目標設定、校内研修「集団づくり検討会」、「不登校対応班」での不登校児童生徒の状況確認、対策検討など、様々な取組を行っている。これらにより登校状況が改善している児童生徒がいる一方、新たに不登校となる児童生徒は増加傾向にある。

これまで積み重ねてきた人権教育を基軸とし、様々な取組を通して「仲間と協力し、自ら学び続ける態度と意欲を高め、自他を思いやる心を育てる」という学校教育目標を達成し、魅力ある学校づくりをめざして教育活動を行う。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

小学校

- ①小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。【人権・同和教育】（R7未実施）
- ②小学校学力経年調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話、タブレット等を含む））を利用するときのルールはありますか」に対して、肯定的に回答する3年生以上の児童の割合を90%以上にする。

【生活指導部】（R7未実施）

中学校

- ③前年度不登校生徒の改善の割合を65%以上にする。【生活指導部】（R7 59%）
- ④年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。【人権・同和教育】（R7 78.6%）
- ⑤年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。【人権・同和教育】（R7 78.3%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小・中学校共通

- ①小学校学力経年調査・年度目標アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」

に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校で 90%以上、中学校で 80%以上にする。【学力保障・研究】

②小学校学力経年調査・年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びも含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童生徒の割合を小学校で 75%以上、中学校で 55%以上にする。

〔小中体育担当〕(R 7 小 : 73.9% 中 : 48.2%)

【学びを支える教育環境の充実】

小・中学校共通

①教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026～2029】に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 19 時間以下とする。

〔管理職〕(R 7 21 時間)

小学校

②小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか」に対して、肯定的に回答する3年生以上の児童の割合を 90%以上にする。

〔生活指導部〕(R 7 未実施)

中学校

③年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して週 3 日以上と回答する児童生徒の割合を 70%以上にする。【教務部】(R 7 未実施)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

小学校

①小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。【人権・同和教育】(R 7 未実施)

②小学校経年調査における「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用(パソコンや携帯電話、タブレット等を含む))を利用するときのルールはありますか」に対して、肯定的に回答する3年生以上の児童の割合を 80%以上にする。

〔生活指導部〕(R 7 未実施)

中学校

③前年度不登校生徒の改善の割合を 60%以上にする。【生活指導部】(R 7 59%)

④年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。【人権・同和教育】(R 7 78.6%)

⑤年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。【人権・同和教育】(R 7 78.3%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小・中学校共通

①小学校学力経年調査・年度目標アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を

通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校で 87%以上、中学校で 79%以上にする。【学力保障・研究】

②小学校学力経年調査・年度目標アンケートにおける「運動(体を動かす遊びも含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童生徒の割合を小学校で 74%以上、中学校で 50%以上にする。【小中体育担当】(R 7 小:73.9% 中:48.2%)

【学びを支える教育環境の充実】

小・中学校共通

①教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026～2029】に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 21 時間未満とする。

【管理職】(R 7 21 時間)

小学校

②小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか」に対して、肯定的に回答する3年生以上の児童の割合を 80%以上にする。

【生活指導部】(R 7 未実施)

中学校

③年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して週3日以上と回答する児童生徒の割合を 60%以上にする。【教務部】(R 7 未実施)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p><u>小学校</u></p> <p>①小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 〔人権・同和教育〕（R7未実施）</p> <p>②小学校学力経年調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話、タブレット等を含む））を利用するときのルールはありますか」に対して、肯定的に回答する3年生以上の児童の割合を80%以上にする。〔生活指導部〕（R7未実施）</p> <p><u>中学校</u></p> <p>③前年度不登校生徒の改善の割合を60%以上にする。〔生活指導部〕（R7 59%）</p> <p>④年度目標アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。〔人権・同和教育〕（R7 78.6%）</p> <p>⑤年度目標アンケートにおける「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%にする。〔人権・同和教育〕（R7 78.3%）</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p><u>小・中学校共通</u></p> <p>①小学校学力経年調査・年度目標アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校で87%以上、中学校で79%以上にする。 〔学力保障・研究〕</p> <p>②小学校学力経年調査・年度目標アンケートにおける「運動（体を動かす遊びも含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な回答をする児童生徒の割合を小学校で74%、中学校で50%にする。 〔小中体育担当〕（R7 小：73.9% 中：48.2%）</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p><u>小・中学校共通</u></p> <p>①教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026～2029】に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月21時間未満とする。〔管理職〕（R7 21時間）</p> <p><u>小学校</u></p> <p>②小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか」に対して、肯定的に回答する3年生以上の児童の割合を80%</p>	

<p>以上にする。〔生活指導部〕（R 7 未実施）</p> <p>中学校</p> <p>③年度目標アンケートにおける「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して週3日以上と回答する児童生徒の割合を60%以上にする。〔教務部〕（R 7 未実施）</p>	
---	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(1) 安全・安心な教育環境の実現】【(2) 豊かな心の育成】</p> <p>道徳・総合の時間を使い、人権教育実践を通じて各学年の様々な課題についての学習を計画的に行う。</p> <p>人権教育実践を通じて生徒一人ひとりが成就感をもてるように指導し、自己肯定感、自尊感情をはぐくむ取り組みを行う。</p>	
<p>指標：人権教育実践（平和学習、多文化共生学習、性教育、部落問題学習、キャリア教育、障がい者理解学習）を年間4回、学年の実態に応じて計画的に実践していく。</p>	
<p>取組内容②【(1) 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>人権を尊重する教育の推進を図るため、さまざまな教育活動の中で、児童・生徒一人一人が成就感を持てるように指導し、自尊感情を育む。</p> <p>小中9年間を見通した人権教育年間指導計画を作成し、人権教育の課題についての学習を行う。</p>	
<p>指標：年に2回、各学級の学級目標について発表する仲間づくり集会を行うことで、なかまについての意識を高める。</p> <p>各学年の実態を把握し、課題を共有する集団づくり検討会を行う。</p>	
<p>取組内容③【(1) 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>生徒の実態に応じて、自宅における学習用端末を活用した学習活動を推進する。</p>	
<p>指標：学校が学習用端末によってつながる生徒の割合を、不登校生徒の20%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【(1) 安全・安心な教育環境の実現】【(6) 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>情報端末やインターネット及びSNS等を安全に使用することができるように啓発活動を行う。</p>	
<p>指標：年に1回、保護者を招いた情報端末やインターネット及びSNS等の安全な使用に関する取り組みを企画・運営する。本校のソーシャルメディアガイドラインを家庭訪問の際に保護者へ配付する。</p>	
<p>取組内容⑤【(4) 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>対話的活動を積極的に取り入れることで、協働的に学び合える授業を展開する。</p>	
<p>指標：小中合同で年3回の研究授業・討議会を行い、対話的活動を軸とした協働的な授業が展開できているか検証する。また、月1回の学力保障部会では、小中連携を図りながら、学びの系統性についても議論する。</p>	
<p>取組内容⑥【(5) 健やかな体の育成】</p> <p>個に応じた学習の場の設定やルールの工夫を取り入れ、運動の苦手な児童生徒も達成感を味わうことができるような体育の授業を展開する。</p>	

<p>指標：小学校においては学期に1回以上の運動週間、中学校においては年に2回以上の校内スポーツ大会を実施することで運動に親しむ機会を増やす。</p>	
<p>取組内容⑦【(6)教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 学習者用端末を活用した授業の展開、家庭でのリモート授業やオンラインでの課題に取り組めるようにしていく。</p>	
<p>指標：スクールライフノートを活用した生徒とのやり取り、授業での学習者用端末を用いた学習の頻度が1週間の中で3日以上になるようにする。</p>	
<p>取組内容⑧【(7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員が定時退勤や年次休暇を取得しやすい環境を作る。スクール・サポート・スタッフの活用を推進する。</p>	
<p>指標：長期休業中に学校閉庁日を3日以上設ける。終業式を前倒し、始業式を後ろ倒しすることで年休取得を促進する。月に1日程度、定時退勤日を設ける。スクール・サポート・スタッフを活用するように、教職員に週1回以上周知する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	